

イザベル・カンピオン指導の”音楽家の為の運動療法” 講座「ピアノ奏法のための正しい体の動き」

日時：2012年11月18日(日) 14時～16時

場所：渋谷区文化総合センター大和田 大練習室

渋谷区桜丘町23-21 山手線渋谷駅西口 徒歩5分(セルリアンタワー裏手) 03-3464-3251 ホール事務室

主な対象：ピアニスト、ピアノ指導者

受講料金：4,800円

通訳：伊予田裕子(ピアニスト)

主催：コンセール・パリ・トーキョウ、プレジール

【お申し込み&お問い合わせ】 コンセール・パリ・トーキョウ tel&fax:03-3487-7967

Mail: paris_tokyo97@hotmail.com

この講座は、「ムジカノーヴァ 11月号」に掲載された、カンピオン執筆の記事「フランスの運動療法士に学ぶ ピアノ奏法のための正しい体の動き」の内容に沿って、カンピオン自身が“ピアノに向かう正しい姿勢”や“ピアノを弾く時の正しい動き”を説明する講座です。

講座は、記事の内容説明及びデモンストレーション、モデルの方への実際の指導、質疑応答で構成されます。

■ 講座「ピアノ奏法のための正しい体の動き」

音楽評論家 真嶋雄大

近年増加の一途を辿っているフォーカル・ジストニア、そのフォーカル・ジストニアに打ち勝つため、この問題に取り組んでいる「コンセール・パリ・トーキョウ」が、今年も”音楽家の為の運動療法”の講座を開催する。招聘講師のイザベル・カンピオンは、フランスの音楽家専門の運動療法士であり、ミッシェル・ペロフやジャン＝エフラム・バヴゼの演奏機能回復に寄与したパリの音楽家のためのクリニック”la Clinique du Musicien et de la Performance Musicale”に所属している。

このクリニックは、フォーカル・ジストニア等のトラブルを持つ音楽家の指導をする一方で、より良い演奏法を習得したいと考える音楽家に身体の使い方の面からの指導もしているのだ。

11月18日(日)には、対象をピアニストとピアノ指導者に限定した特別講座「ピアノ奏法のための正しい体の動き」が開催される。先般カンピオンは、音楽雑誌「ムジカノーヴァ」11月号に「ピアノ奏法のための正しい体の動き」という記事を4ページにわたって執筆したが、当日はその内容に沿って、ピアノに向かう正しい姿勢や、ピアノを弾く時の正しい動きを説明してくれる。

「ピアニストの出す音は、背中を見ればわかる」と言われる通り、演奏者の姿勢や動きは、演奏に大きな影響を与えているのである。まさに、ピアニストに必要な「身体の合理的な使い方」を学ぶことの出来る貴重な機会であることがわかるだろう。

また指導者として、生徒に腱鞘炎やフォーカル・ジストニア等のトラブルを起こさせないためにも、「身体の合理的な使い方」を率先して知ることは、何よりも大切なことではないだろうか。

注) フォーカル・ジストニアは、痛みを伴わない筋肉の不随意症状。鍵盤楽器・弦楽器の場合は手に、管楽器の場合は口唇と手に現れます。

Isabelle CAMPION イザベル・カンピオン

音楽家のためのクリニック(パリ) 専属の運動療法治療家、チェリスト。

演奏家の障害の医療と予防、芸術的表現のためのジェスチャーの研究活動と自らの演奏活動の二つの情熱を調和させている。

オーケストラマンや教師、医師や運動療法家の育成にも注力(芸術家の医学のヨーロッパアンディプロマ)

定期的にオーケストラやコンサルヴァトワール、講習会、マスタークラス、国際学会や文献の発表に参加